



私たちは、市政と県政、そして国政とも連携して市民の生活を守ります。

2023年1月、れいわ新選組 たがや 亮 衆議院議員と埼玉県政策員のほんだ まさきさん、わたし木岡で対談を行いましたので、その一部を抜粋して掲載いたします。

**木岡**・・・4月に統一地方選挙がありますが、国政から見て感じていることからお話いただけますか。

**たがや**・・・今の国の政治がどういった枠組みで構成されているかを考えるとき、国政を支えているのは地方議員です。

だから地方議会の枠組みが変われば国政の枠組みも変えることもできると思っています。

今までの政治の結果が今の社会の現状ですから、今度の地方選挙は本当に大事です。

ところで、ほんださん、木岡さんは、どうして政治の世界に飛び込んだのですか。

**ほんだ**・・・38歳の時に当時の鳩ヶ谷市が川口市に編入合併するか否かが問われた選挙があり、また2011年の東日本大震災後の原発を止めたいとの思いから政治の道を志しました。

そして2012年の総選挙にたがやさんと一緒に挑戦し、痛手を負いましたが、そうしたことがあってもなお、何とかしなきゃとの思いはずっとありました。その後、少し政治から距離をおいていたのですが、テレビに向かってアレコレ意見を言っていた時に、子どもから「そんなに言うなら自分でやればいいじゃん」と言われ、気持ちが固まりました。

**木岡**・・・私の政治の原点は、18歳の時にボランティアに行った阪神大震災です。

当時、集まった義援金や税金から支出する支援金の使い道が、被災者に直接届きづらい現実を目の当たりにして、社会を変えるのは政治を変えなければと思い政治の世界を志しました。

その後は、社会にある不公正にハッキリとモノが言える議員でありたいと思い活動を続けてきました。

**たがや**・・・2012年の総選挙で、ほんださんと会って、真面目を絵に描いたような人だなと思いました。だからこそ頑固なところもありますが、政治家はそれくらいじゃないと務まらないと思っています。今のままの政治で良いのか、自分の人生や家族や周りの人の人生を任せられないとの思いで、人生をかけて政治に取り組んでいる点は、この3人の共通点だと思います。

**ほんだ**・・・政治家は、一生懸命に真面目に取り組めば取り組むほど本当に大変。でもそこまでしてでも政治を変えたいとの思いで、いま取り組んでいます。

**たがや**・・・大きな政党だから大丈夫なんてことは全くない。それどころか大きな政党の政治の結果が今の現状ですから。

市民生活が苦しくなっている一方で、既得権益に甘じがらめの大政党ではなく誰に忖度するでもない「れいわ新選組」が活躍する時だと思っています。

れいわ新選組は2019年に山本太郎代表が立ち上げ、たった4年弱で国会議員8人を擁する政党になりました。これからもっと大きくなります。是非ご注目ください。



比例代表（南関東）選出 れいわ新選組衆議院議員 国会対策委員長 衆議院千葉県第11区総支部長  
1968年11月25日生 國學院大學文学部卒業 飲食店運営会社社長



川口市議会議員 46歳

◆発行責任者 木岡たかし [連絡先] 川口市東川口2-4-16  
TEL: 080-1244-3769 Mail: takashi@kioka.info

# 木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.43 [2023.2]

◆税金の使い道 徹底的に監視します！

◆子育てにお金のかからない 街にします！

◆高齢者が安心して生活できる街を 実現します！

## 社会の不公正に沈黙しない！ 川口市の闇に切り込む!!

—長いものに巻かれず、忖度しない、モノ言う議員が必要です!—

### アートギャラリー・アトリアと旧田中家住宅の管理委託で、行政の公平性・中立性が疑われる事態が発生!!



「アートギャラリー・アトリア」  
並木本町 アリオ川口東側 川口駅徒歩9分



「旧田中家住宅」  
末広町1丁目  
122号上り線沿い

2022年12月19日の川口市議会の環境経済文教常任委員会において、川口市の「アートギャラリー・アトリア」と「旧田中家住宅」の管理・運営を、川口市直営方式から指定管理（民間に管理・運営を委託）に切り替えて、その委託先を「(株)21世紀文化芸術研究室」と「(有)アプリュスアソシエイツ」とすることを提案する議案と補正予算が審議されました。

わたし木岡の所属する会派は以下の理由により反対しました。

#### ！ 反対理由その1 そもそも市直営をやめて指定管理とする必要性がない。

市側は直営方式をやめて、民間事業者に指定管理する理由について、「民間の知恵やノウハウを活用することや「財政的メリット」があることを強調していますが、いままでの直営であっても若手芸術家支援事業などで高く評価されておりまして、運営にも何ら問題はありませんでした。

運営費についても今回の補正予算では、ほぼ今までと変わらず財政的メリットも感じられません。

あえて、指定管理に切り替える必要はありません。

[2ページにつづく]

#### 木岡たかし [profile]

1976年（昭和51年）3月26日生 専修大学法学部 卒業 家族は、妻と娘と息子

■略歴■

参議院議員の公設秘書を7年間つとめる。建設会社勤務を経て、2007年（平成19年）川口市議会議員選挙で初当選。2011年・2015年・2019年の川口市議会議員選挙で再選。現在4期目 川口市議会「立憲民主党・新風会」所属 【所属委員会】◎環境経済文教常任委員会 ◎地域活力・市民生活向上特別委員会 【保有資格】 ◎社会保険労務士 ◎宅地建物取引士

公式ホームページ

木岡 たかし



## ！ 反対理由その2 適正な管理運営ができるのか、丸投げ再委託の危険性があるのでは・・・。

今回、「アートギャラリー・アトリア」と「旧田中家住宅」の運営を指定管理する場合の委託先は以下の2社です。

- (株) 21世紀文化芸術研究室 ⇒ 主に「アートギャラリー・アトリア」の管理を担当予定  
代表者氏名：**岡村睦美氏** 設立年月日：2020年9月23日 従業員数：10名（内2名は役員）
- (有) アプリュスアソシエイツ ⇒ 主に「旧田中家住宅」の管理を担当予定  
代表者氏名：**高田純嗣氏** 設立年月日：1997年3月24日 従業員数：1名（内1名が役員）

「(株) 21世紀文化芸術研究室」は、設立後2年2ヵ月しか経過しておらず、役員以外の従業員数は8名しかいません。また、「(有) アプリュスアソシエイツ」に至っては、役員が1人の会社ですから、何をか言わんやであります。結局、この2社がトンネル会社となり、中抜きをして再委託、丸投げのような事態になることはないのか質問しましたが、そうした危惧を払しょくするだけの答弁はありませんでした。

## ！ 反対理由その3 市側との出来レースではないかと、うがった見方をしたくなるほどの関係性が？

- ①「(株) 21世紀文化芸術研究室」の代表取締役を務める**岡村睦美氏**は、この間の「川口市美術館基本構想・基本計画審議会」にアドバイザーとして深くかわり、審議員16名の内6名が、**岡村睦美氏**が理事を務める「NPO 法人アート・コア・川口」の関係者が占めていたのです。  
ちなみに、「川口市美術館基本構想・基本計画審議会」の会長は、**利根忠博氏**で、「NPO 法人アート・コア・川口」の代表理事でもあります。
- ②「NPO 法人アート・コア・川口」と**奥ノ木市長**の関係性について  
「NPO 法人アート・コア・川口」が、埼玉県に提出した2021年度の事業報告書には【事業の成果】として以下の一文が記載されておりました。  
『理事会は書面にて行われ、総会は密にならない広い会場で、感染防止対策を充分に行いながら1年ぶりにリアルで開催された。総会後に行った懇親講演会では、コロナ過における市政や国政、芸術支援等に関するテーマを軸として、川口市長**奥ノ木信夫氏**や衆議院議員の**新藤義孝氏**に話をいただいた』  
2021年度の【事業の成果】の中心が、市長を招いての懇親講演会というNPO法人だと私には読めました。
- ③ 住所がみんな一緒  
(株) 21世紀文化芸術研究室 所在地：川口市栄町3-105-15-2 3階  
NPO 法人アート・コア・川口 所在地：川口市栄町3-105-15-2 3階  
(有) エスパス・ミウ（店舗名：埼玉画廊）所在地：川口市栄町3-105-15-2 3階 代表取締役社長は、**岡村睦美氏**です。

要するに、どれも**岡村睦美氏**にかかわりのある法人だと言うことです。そして、その**岡村睦美氏**が率いる「(株) 21世紀文化芸術研究室」が、「アートギャラリー・アトリア」の指定管理委託化に伴って委託先に選定されたことは、ちょっと繋がり過ぎじゃないだろうか、行政の公平性・中立性の観点から問題があるのではないかと指摘したところです。

**奥ノ木市長**に近い人たちだけで、「川口市の市立美術館構想」や「アートギャラリー・アトリア」の運営までもが回されているように見えてなりません。

なお、詳細は、わたし木岡のブログでも紹介しております。また、この問題について、引き続き調査して参ります。

※今回掲載しました個人・法人の固有名詞は、いずれも法人登記簿やインターネットを見れば簡単にわかる公開情報から収集したものです。また見解については、あくまでもわたし木岡の私見であることをお断りしておきます。

## 市政と県政、連携して取り組みます！



れいわ新選組  
川口市議会議員  
木岡 たかし

- ① 埼玉高速鉄道の運賃・定期券の値下げを目指します。  
値下げのために岩槻駅までの延伸にストップをかけます。

⇒新たに多額の借金をして鉄道を延伸したり、ハコモノ公共事業を優先する時代ではない。  
公共事業は、市民生活に密着した生活道路や橋の維持補修や上下水道の耐震化などを優先して進めます。



れいわ新選組  
埼玉県（南2区川口市）政策委員  
ほんだ まさき

### 教育

- 教員不足解消に向けて教員確保を進めます。
- 小・中学校の給食費と教材費の無償化を進めます。
- 県立特別支援学校の増設に取り組みます。
- 返済の必要のない給付型奨学金制度の拡充に取り組みます。

### 子育て

- 0歳児～2歳児の保育料を引き下げに取り組みます。
- 第二子以降の保育料無償化に取り組みます。
- 虐待から子どもたちを守る  
児童相談所職員の増員に取り組みます。

### 医療・介護

- 県内の医師を増やします。
- 不足している介護職員・保育職員の給与を増やし、待遇改善に取り組みます。
- 介護保険料・国民健康保険税の引き下げ、軽減策の充実に努めます。

### 災害対策

- 埼玉県管理の河川と川口市管理の下水道の連携による水害対策を進めます。
- 荒川氾濫時の川口市南部の垂直避難場所の確保を進めます。

## 川口駅周辺ばかりにお金を使う今の市政を見直せば、財源は作れます！

- ◆ 財源その1  
建設費だけで300億円と言われる川口駅への中距離電車停車計画の廃止・見直しにより財源は作れます。
- ◆ 財源その2  
建設費だけで30億円とも言われる市立美術館計画の廃止・見直しにより財源は作れます。
- ◆ 財源その3  
長期間にわたり未整備区間となっている川口駅周辺の道路建設計画（残工事に約300億円必要）を縮小・見直しして、大幅な予算削減をすすめれば財源は作れます。